

日本学術会議化学委員会分析化学分科会（第24期・第8回）議事録

日時：令和元年12月26日（木）15:30-16:25

場所：日本学術会議6階6-B会議室

出席者（敬称略）：一村信吾、谷口 功、佐藤 縁、竹内孝江、栄長泰明、尾嶋正治、加藤昌子、斎藤公児

欠席者：玉田 薫

記録：佐藤 縁

配布資料：

資料番号なし 化学委員会分析化学分科会 第24期 第8回 議事次第

資料 8-1-1 日本学術会議化学委員会分析科学分科会（第24期・第7回）議事録（外部案）

資料 8-2-1 ヒアリング発表資料

資料 8-3-1 分析化学分科会 活動の記録について（とりまとめの考え方）案

資料 8-5-1 2019年度上半期の各部における予算執行状況について（中間報告とお願い）

資料 8-5-2 2020年におけるJASIS展での合同シンポジウムの開催について

資料 8-5-3 2019年JASIS展でのシンポジウム（2019年9月4日開催）アンケート回収結果

参考資料：

資料 8-1-1 日本学術会議化学委員会分析科学分科会（第24期・第7回）議事録（内部案）

資料 8-2-1 学術会議大型研究ヒアリング 質疑概要（尾嶋先生メモ）

資料 8-3-2 分析化学分科会 活動の記録について（とりまとめの考え方）案（内部用）

資料 8-4-1 International Union of Pure and Applied Chemistry

資料 8-5-3 2019年JASIS展でのシンポジウム（2019年9月4日開催）アンケート回収結果（内部用）

議事進行内容：

0. 配布資料確認

1. 前回議事録を確認。既に、本件はメール会議にて内容等確認済ではあるが、資料 8-1-1（外部および内部用）について再確認した。

2. 学術の大型研究ヒアリング報告への対応について

資料 8-2-1 および参考資料 8-2-1に基づき、内容を確認した。

3. 今期活動の記録について

資料 8-3-1に基づいて内容確認を行った。3)の活動記録スケジュールについても確認した。内容の各項目については、掲示板（5年程度意見交換の記録が残る媒体）で、確認

が必要になる。本分科会の場合でも内容を確認し、スケジュールについても、問題はないことを確認した。

4. IUPAC 分析化学教育の現状調査について

竹内委員より、参考資料 8-4-1 に基づき、提案があった。

(提案の概要) IUPAC 分析化学ディビジョンは4月にイギリスで分科会開催予定。分析化学に関連して世界でどのような教育が行われているか、まとまったデータがない状態である。我が国においても広く調査を行いたい。大学の他、可能であれば企業にも調査を依頼したいところ。日本学術会議から調査依頼を出せないだろうか。

(意見等)

- ・日本分析化学会経由で当該会員に送って回答を集めるのが、分析化学関連の回答としては集まるのではないだろうか。当学会所属の関係企業からも意見を集めるほうがよい。
- ・IUPAC からの依頼の受け手は日本学術会議。本分析化学分科会が、IUPAC 分科会からの依頼を、日本分析化学会にお願いする形がよいかもしれない。日本分析化学会でご判断いただくように働きかけたい。

5. その他

- ・今後の分科会の開催について：(資料 8-5-1) 分析化学分科会としては今年 1-3 月の会議は開催しない予定と回答済みである。
- ・今年のシンポジウムについて(参考資料 8-5-3) を元に確認した。分析化学分科会に対する期待が高いことが確認された。
- ・次年度のシンポジウム開催について：過去 3 年間、JASIS 展の場を借りて他の 3 団体と共催してきたが、今回は開催日程含め、事情が異なってくる。JASIS 展と一緒に開催可能な他団体と 11 月に開催の方向で調整したい。
- ・4 月以降、シンポジウム開催に向けて議論が必要であり、分析化学分科会を開催予定とする。

以上